

公民館 通信 2026.7

たのしい まち

「まなび」と「であい」のひろばである公民館から
さまざまな拠点へと広がる「つながり」を発信

音楽文化で人と人のつながりを♪

音楽と文化で地域を盛り上げる「たまたま奏でる繋がるプロジェクト」。「VITAふれあいまつり」や「せいせきミュージックフェス」、「せいせきカワマチ」のフリーステージなどで活躍。つむぎ館での「ウクレレレッスン」も始まった。音楽と文化に関わる楽しい企画で、人と人がゆるやかに繋がっていく。始まりは、「東寺方エリアミーティング」（次頁参照）。中央大学中村ゼミの学生も加わり、私たちの住む大好きなこのまちに「ゆるく楽しい繋がりを」との思いで集まったメンバー同士の意見交換から始まった。その過程



たまたま奏でる繋がるプロジェクト
峰岸 優子 さん

で生まれた「音楽・文化グループ」が先のプロジェクト名で活動を開始。音響担当の峰岸さんは、裏方のプロジェクト窓口として、走り回る。清瀬市出身の峰岸さん。出身高校は帰国子女や留学生の多いアメリカ風の都立高。「自分とは何か？」を深く考えた高校生時代だったという。その後、音響専門学校に進学。「ステージを作りたい」と夢見ていたが、卒業後は実家の園芸店で働く。「キラキラしている人を応援したい」と開店時、植物の間に写真を飾る写真展などを開催したこともあったとか。結婚後、多摩市民となり、4人の子を育てる。その中でPTA等に関わり、サッカー少年団の代表を経験したことは、今では自信となり、現在の活動に大きく繋がっているという。

4年前、時間に余裕ができたという理由だけでエリアミーティングに参加。「楽しいことを地域活動にしたいんですよ」という一言が心に響いて一歩を踏み出した。「初めは小さなカフェで」。ゼロベースから立ち上げて、その後次々とイベントを実施してきた。

今後やりたいこと？ 「一人一人が本来の自分に戻って、好きなこと楽しいこと得意なことをやれば、社会ってうまくいく。」そう伝えていきたいと大きな瞳をクルクルさせて笑った。

編集：たのしいまち編集委員

発行：多摩市立永山公民館 〒206-0025 多摩市永山1-5 042(337)6661 FAX 042(337)6003
多摩市立関戸公民館 〒206-0011 多摩市関戸4-72 042(374)9711 FAX 042(339)049

2頁〈協創推進室のウィエックさんに聞いてみた！〉

3頁〈こどものまちたま、サークル紹介「多摩英語クラブ」〉4頁〈マンガ、コラムえ・と・せ・と・ら 他〉

峰岸優子さんの
インタビューを受けて／

協創推進室の ウィエックさんに 聞いてみた！

多摩市役所 協創推進室
ウィエック アリシアさん



たまたま奏でる繋がるプロジェクト誕生のきっかけになった
“エリアミーティング”ってなに？

「このまちが好き」「新しく何か始めてみたい」「地域のことを知りたい」
そんな方々に向けて、多世代でゆるく楽しくつながりあう場として、協創推進室
が開催しているワークショップです。

エリアごとに内容や頻度を少しずつアップデートしながら実施しています。
まちづくりシミュレーションゲームや様々なワークを通して、参加者同士の交流
が生まれたり各地域で進められている取り組み紹介を行う中で、自分に合った
活動や仲間を見つけられたりする場となるように工夫しています。そのエリアに
関心がある方ならどなたでも参加できます。

東寺方エリア のエリアミーティングってなにをしてるの？

東寺方小エリアでは、中央大学国際経営学部中村ゼミの学生との共同研究により、
進め方や内容を決めています。エリアミーティング、協創ミーティング(すでに地域活動
等に参加されている方向けのミーティング)、合同の回があり、自己紹介でお互いに知
り合うとともに、興味関心が近い参加者同士と一緒に具体案の相談・作成を行い、各グ
ループの作成した地域活動案を全体で共有するというのが主な流れになっています。

これまで、峰岸さんの活動グループの他、自治会との連携での「かまどベンチ」を
使った交流イベントや、大栗川沿いでのゴミ拾い企画などが生まれています。



エリアミーティングをきっかけに誕生した「たまたま奏でる繋がるプロジェクト」さん

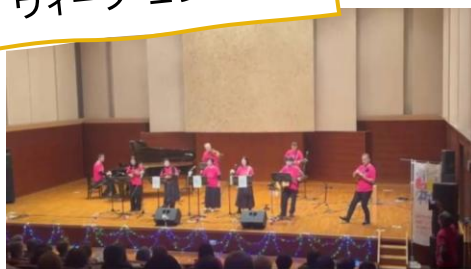
公民館のさまざまな事業を活用しながら、地域に根ざした活動を広げています！

市民ロビー活用事業



市民ロビーを有効に活用し、市民の学習機会や学
習活動の充実を図ることを目的とした事業です。
公民館では、コンサートや音楽鑑賞事業、講演会・
発表会などのほか、来館者への学習機会の提供や
文化的教養の向上に寄与すると認められる事業に
ついて、市民ロビーの利用を認めています。

ヴィータ・コンサート



地域で活動する音楽家や団体、これから演奏活動
を始める方々に発表の場を提供し、市民の皆さん
が身近に音楽を楽しめる機会を創出することを目
的とした事業です。

ヴィータ・コンサート実行委員会の主催により隔月
で開催しており、毎年夏頃には次年度の出演者を
募集しています。

公民館事業を
ご活用ください！

WEB SITE

「関戸公民館 市民ロビー活用事業」
<https://www.city.tama.lg.jp/kenkofukushi/katsudo/kouminkan/sekido/1003196.html>



WEB SITE

「関戸公民館 ヴィータコンサート」
<https://www.city.tama.lg.jp/kenkofukushi/katsudo/kouminkan/sekido/1012270.html>



こどものまち たま

編集委員が行ってみた ～こどもがつくる、こども「だけ」のまち～

子どものための、子どもが作る、子どもだけの街ですって？そんな国があるの？大人は入れない？本当？

多摩に時折現れる、小さな街。それは、仮想街づくり無料体験イベントとでも言おうか。団体「チームミニたま」と公民館の共催イベント「こたま」。対象は小3から中3までの子どもたち。手ぶらで足を踏み入ると入口で研修が。この街の仕組みを教わり、市役所で住民登録する。さあ、どこで働こう。ぐるっと見渡すと、そこには日本さながらの街があり、働き、収入を得て税金を払う。買い物をする。「街を遊ぶ」のだ。

ここでは実際の日本円は全く使えない。代わりに仮想通貨が流通しており、労働に見合った賃金が受け取れる。30分で5た～ま。これを大事に貯金したかったら銀行へ。銀行で働くのも子ども。コツコツ貯めて何か買ったかったら百貨店へ。

このまちにははっきりとした法律があり、改訂するには市議会を通さないとはいけない。市民が集まってタウンミーティングが開催され話し合い、多数決で、ようやく法律が改訂されるのだ。議員もいる。皆で力を合わせて、住みたい街を作り出すのだ。



すご腕のバイヤーが現れたり、会議を仕切らせると天才的な能力を発揮する子が出て来たり、ただ「見る」子もいたり。いや～、子どもの世界は面白いこと。まるで大人の世界を見ているようである。しかし大人と大きく違うのは、どの子も瞳をキラキラ輝かせて、自分がやりたいくて興味を持ったことに自信を持って取り組んでいることである。素晴らしい！



大人は緊急時以外は干渉しない。子ども自身が考え、アイデアを練り、自分のやりたいことに取り組むのだ。子どもって、大人が想像する以上の能力を発揮できる生き物なんだ。押さえつけたらもったいない！

3月に5日間開催された「こたま」が来年も盛大に開催されることを願ってやまない。ああ、私には見える！「こたま」を面白いと思ってくれた子たちが、いつの日か瞳をキラキラさせながら、多摩市の街づくりに一生懸命汗水流してくれている風景が♪(楽)

◎サークル紹介（永山）

「多摩英語クラブ」

メンバーは25名程、定期的集まるのは15名位です。

多摩市外から来られる方もおります。

平日の午前中開催のため高齢者が多く、現役時代に英語に関連したメンバーもおりますし、そうでない方もおります。

【 クラス 】 ※クラスは3つに分かれます。

- ① メンバーの興味を持った話題を英語で話すクラス
 - ② 英語の表現方法、idiomや熟語、流行語などの知識を学習するクラス
 - ③ 英字新聞や英語雑誌の記事を読み合わせるクラス
- 視聴覚室では前述の3つの活動に加えて洋楽(ほぼOldies)や洋画を楽しんでいます。 クラスを覗きに來てください。待っています。

◆日時 毎週金曜日 午前10時～12時

◆場所 永山公民館（視聴覚室または学習室）

◆連絡先 042-676-8636（石田）



2009年6月19日 多摩英語クラブ
ベルブ永山に於いて

夏が来た! —永山の栗ちゃん—

コラム え・と・せ・と・ら

パラオにJICA青年海外協力隊員として派遣され、2年弱の任期を終えてから早1年。なんと、またパラオへ戻ってきてしまった。待望?のコラム【続編】である。教員の職を辞し、「パラオで自分にしかできないことを」との思いで、今度は期限付きのボランティアではなく、現地採用教員として小学校で勤務していく。今後も、パラオでのエピソードを紹介していきたい。

今回は、車両登録に大苦戦した話。パラオへ移住する前に、日本で中古車を取得しパラオへ輸送していた。神戸港からパラオまで、約2週間の船旅である。パラオへ到着し、税関を通過したとの連絡を受け、愛車を受け取りに港へ。その後、警察署へ行って車両登録をしナンバープレートを取得して、やっと街中を自由に走れるようになる。

早速警察署へ行き、用意していた書類を出すも、「日本での車検証を見せてほしい」との返事。車検証は持っていたものの、もちろん記載は日本語。どうやってこれを読むのだろう…と不思議に思っていたら、Google翻訳のカメラ機能を使って読み込んでいた。Google翻訳はカメラ機能を使うと、書類を写真で撮るだけで英語に翻訳してくれる便利なツールで、私もお世話になることも多いが、たまにAIが翻訳ミスをすることもある。今回は、なんとGoogleですら私の名字を翻訳ミスしてしまったのである。日本では少し珍しい名字ではあるが、まさかAIが読んでくれないとは。警察署で何度も「これは日本語では〇〇と読むんだ」と説明しても、正式書類ではないから許可できないとのこと。結局、日本大使館に相談し、自分自身で車検証を全て英訳。それを裁判所に持って行って公式書類として認証してもらい、5時間もかかって、やっと車両登録できたのであった…。



「山本」とか「佐藤」だったら起きなかった、おもしろトラブル。何が起こるかわからないパラオ、やっぱりおもしろい国である。(ニーチェ)



☆(あ)最近はいこラブとKina Gun推し!
 ☆(愛)今年も夏フェスに行つて暑さを乗り切ります!
 ☆(楽)息子夫婦に女兒が生まれた。4年の血と汗と涙と食事制限と、お嫁ちゃんもものすごーくがんばってくれた。30時間の陣痛を乗り越え、今、私の目の前でスヤスヤ眠るベビちゃんの存在が、不思議で奇跡!
 ☆(月)「鼓樓」20周年公演に行った。
 迫力の演奏に、満席の会場は拍手喝采。舞台を跳ね回る代表の栗原さんにも大喜び。お客様と共に歩まれた20年だと感動した。

編集後記



↑ カラー版は
こちらから